

冬ごもりしていた虫やカエルが土の中から這い出して来るといわれる啓蟄を前にして、ここ数日は昼間の暖かな日差しに春を感じるようになりました。コロナ禍による苦しみや不安、困難な状況が、2年を経過した今もなお続く日々の中、ロシア軍のウクライナ侵攻という衝撃的なできごとが世界を脅かしています。東日本大震災を特に心に覚えるこの3月、世界中のすべての人の平安を祈りつつ「ひとりの小さな手通信 第32号」をお届けします。

シンガーソングライターで小説家のさだまさしさんが、ご自身のインスタグラムに『ウクライナ侵攻に思うこと』として次のようなことを書かれていました。

「ロシアのウクライナ侵攻に怒り、悲しみ、胸苦しい毎日を送っています。僕らには何の力も無いことは承知していましたが、それにしても本当に何も出来ないことがっかりしています。武力が正義と言うのなら、人類は必ずまた世界大戦を起こしてきっと滅びます。---略--- 日本にとって、このことは決して他人事ではないのです。---略--- このように我々の平和は実はとても脆弱な地盤の上にあるのだと思知らされる暴挙です。---略---」

さださんのように社会の中でさまざまな活動をされている方でも然り…私たちは、世の中のでき事に、自然の力に対して、自分の無力を感じるものがどれほど多いことでしょう。しかし、何もできないからこそ、考えなくてはならないのだと、一生懸命考えなくてはならないのだと思うのです。コロナ禍で不安の大きい状況ですが、自分を大切に、人と人とのつながりを大切に、平安な日々を祈り、自分にできることを考えつつ過ごしていきたいと思います。

「ひとりの小さな手」

ひとりの小さな手 何もできないけど
それでもみんなの手と手をあわせれば 何かできる何かできる
ひとりの小さな目 何も見えないけど
それでもみんなのひとみで見つめれば 何か見える何か見える
ひとりの小さな声 何も言えないけど
それでもみんなの声が集まれば 何か言える何か言える
ひとりで歩く道 遠くてつらいけど
それでもみんなのあしぶみひびかせば 楽しくなる楽しくなる
ひとりの人間は とても弱いけど
それでもみんなが集まれば強くなれる強くなれる

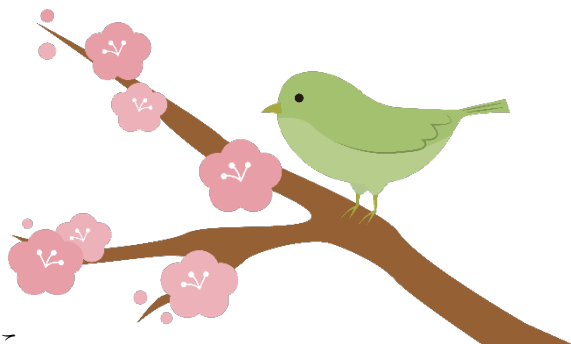
◇活動報告 2021年～

○チャリティー、募金 等

- ・2021年3月14日(日)
祈りのコンサート開催(オンライン)
ピアノ 高田ひろ子さん フルート 北迫真弥さん
- ・2021年3月15日(月)～
チャリティーバザー週間
売上げ 85,915円
- ・2021年5月
広島から送っていただいた甘夏ミカンを使った手作りマーマレード販売
売上げ 29,200円
- ・2021年7月
ブタさんバザーより
献金 21,250円
- ・2021年11月
チャリティーバザー
売上げ 50,600円
- ・2021年7月～12月末
個人献金 5,000円
香り募金 10,520円

○被災地との交流、支援

- ・2021年6月
東美教会 陣内大蔵先生
&フジコ・ヘミングのチャリティーコンサートへ寄付
30,000円
- ・2021年12月
南相馬 原町聖愛こども園の
子どもたちと先生方へ
クリスマスプレゼント



☆ひとりの小さな手では緊急なことに
対応できるよう備えています。

◇「ひとりの小さな手」の活動について

「ひとりの小さな手」は、11年前、東日本大震災で大きな被害を受けた方々の健康と被災地の1日も早い復興を祈るとともに、野毛山キリストの教会と野毛山幼稚園につながる人々が一緒に、長期的な支援を考え、実行していきたい——「ひとりの小さな手」のうたの通り、ひとりの力は小さいけれども、みんなの心を合わせ、私たちにできることをしていきたい——という思いから始まった活動です。

具体的な活動は、東日本大震災直後、コカリナ奏者黒坂黒太郎さんからの被災地に応援メッセージを送りませんかというお声かけによるメッセージ作成からスタートしました。コカリナの演奏と子どもたちの笑顔をDVDにして被災地に届ける…そこから「皆で心を合わせれば、何かできる、できることをやっぺいこう」という元気を与えられ、自分たちにできることを考えながら小さな歩みを続けています。

大震災後の最初の数か月は、さまざまな物資を大きな段ボールに詰めて何十箱も被災地に送り、仙台の支援グループを通して被災された方々に届けていただきました。そしてその後は、手作りのお菓子やメッセージを送ったり、チャリティーコンサートやバザーによる義援金を届けたりという活動を通し、福島県南相馬の原町聖愛こども園、陸前高田ホットカフェ、南相馬ファクトリー、震災支援音楽プロジェクトといった支援先の方々とつながりを深めてきました。

この2年間はコロナ感染の影響によってさまざまな制限もあり、今まで通りの活動ができていない状況ではありますが、今後も、東日本大震災の被災地、また、さまざま自然災害で被災された方々に心を寄せ、直接お会いしたり手渡しできたりする、お顔の見える支援を中心に、私たちのできることを続けていきたいと考えています。

◇被災地の情報コーナー

教育館玄関に、震災や被災地支援に関するコーナーを設置しています。また、野毛山幼稚園 HP [「ひとりの小さな手」](#)を開いていただくと、今までの活動の様子、通信を見ることができますので、ぜひ、ご覧ください。

◇香り募金

教会のシャロン会(婦人の会)手作りの香り袋で、三角に縫ったかわいい布の中にポプリが入っています。100円募金をしてくださった方に差し上げています。「優しい香り募金」として優しい気持ちを広げていきたいと思ひます。常時設置しています。ご協力をお願いいたします。

◇今後の予定

○東日本大震災復興支援 第21回 チャリティーコンサート

祈りのコンサート

2011年の東日本大震災からずっとチャリティーコンサートを開催してきましたが、新型コロナウイルスの影響により、残念ながらこの2年間は、礼拝堂でのコンサートを開催することができませんでした。昨年に引き続き、今年も配信での【祈りのコンサート】を開催します。

集うことはできませんが、それぞれの場所で素晴らしい音楽を聴き、心をひとつにして、東日本大震災はじめさまざまな自然災害で被災された方々、また、コロナ禍にあって苦しみの中におられる方々や医療に従事しておられる方々、そして戦火の渦に巻き込まれ恐れと苦しみの中にある人々に心を寄せ、世界の平安を願い、祈りたいと思います。

2022年3月13日(日)

AM11:30～

出演

高田ひろ子さん(ピアノ)

中瀬香寿子さん(フルート・アルトフルート・バスフルート)

北迫 真弥さん(フルート・ピッコロ)

主なプログラム

♪ホール・ニュー・ワールド

♪リベルタンゴ

♪G線上のアリア



<https://youtu.be/BhULELLf9I>

発行 2022年3月4日
ひとりの小さな手プロジェクト
事務局 〒2200032 横浜市西区老松町30地
野毛山キリストの教会・子どもの教会 野毛山幼稚園
根岸ひろみ 浅井知美 奈良亜樹子